



徳島ヴォルティス

障がい者支援(精神障がい・発達支援)サッカー教室 1/2



Story

私達は、障がい支援として、精神障がい者フットサル交流会を2012年から、徳島ヴォルティス株式会社、日本精神科病院協会徳島県支部、徳島県精神保健福祉協会と一緒に活動を始めました。

対象は、地域で生活する精神障がい者と医療関係者スタッフが、徳島スポーツヴィレッジ(TSV)で月に1回開催(土曜日、18:00~19:30)している。参加人数は、障がい者、医療関係スタッフ等合わせて、20~30名が参加している。技術指導は、徳島ヴォルティスホームタウン推進部普及コーチ(3~5名)がおこなっている。サッカー経験者も未経験者も、男性も女性も混在して楽しく活動をしている。毎回参加される方、たまに参加される方、久しぶりに参加される方など参加頻度は体調に合わせて様々である。

活動への想いとしては、①皆さんがサッカー(フットサル)を通じて、達成感を肌で感じてもらいたい。②仲間作りができる場になってもらいたい。③笑顔が増え、自信が持てる様になってもらいたい。④参加者が楽しいと思える環境を作りたい。⑤障がいは意識しながらもプレイヤーとして普通に接する。⑥障がいや病気の事は、理解するが調子が悪い時の対応は専門家(一緒に参加している医療スタッフ)にまかせる。活動の広がりとして、普段、活動している場所(徳島県東部)は、少し遠い方々に対して参加しづらい地域(徳島県西部、南部)の方へ向けた交流会も開催している。また、徳島県にある四国大学の学生(看護学部や女子サッカー部)とサッカーを通じて交流を実施した。直接、接する事で精神障がい者に対する正しい理解の促進に繋がる。

異年齢との交流として、われわれ徳島ヴォルティスホームタウン推進部普及コーチは、発達障がい児とも2013年から2か月に1回のペースでサッカー教室をおこなっている。利用者は、6歳~18歳の重度、軽度の方々だ。その児童や学生は、毎回楽しく体を動かしワーキングメモリー(記憶する容量)を増やす練習をしている。しかし、高校を卒業したらサッカーをする場所がなかったのが、今では精神障がい者フットサル交流会に参加してプレーができるようになっている。発達障がい児から精神障がい者まで全てが繋がり、活動をしているという事で参加者から医療スタッフ、コーチ陣もとてもうれしく思っている。

発展とし発達障がい児のチームと健常者のチームで大会を開き、周りの方への周知や健常者も障がい者も楽しんで活動をするという、Jリーグの理念に

も沿って活動している。

また、徳島ヴォルティスのトップチームの前座として、発達障がい児、精神障がい者の方々と交流会として合同イベントもおこなった。このような機会を作り、現在までおこなう事で、参加者はサッカーやフットサルを皆でおこない、喜怒哀楽があるこの場所は、安心安全だと感じてもらっている。

医師からも言われた言葉で、【参加者の方々が生き生きとしている、医師の私が言うのも違うかもしれないが、薬よりスポーツをする事がとても有効だと思う】とおっしゃられていた。私もそれは本当に強く感じている所だ。そして、徳島県のチームを作り、楽しくボールを蹴る気持ちから、相手と勝負して勝ちたいという欲も出てくる参加者も増え、今では四国大会に参加したり、四国代表チームを作り、全国大会に出場できるまでに力がついた。私も全国大会で監督という立場で指揮をとらせて頂き、とても幸せな体験、経験をさせて頂いている。

効果や変化に関しては、活動を通じて参加する前と後ではより大きく差が出た。その項目としては、①生きがいがある。②不安があっても自分のしたい生き方ができる。③自分の将来に希望を持っている。④成功したいという強い願望がある。⑤元気でいたり、元気になったりするのための自分なりの計画がある。⑥頼りにできる人がいる。⑦さまざまな友達を持つ事は大切な事と感じている。⑧症状が自分の生活の妨げになることはだんだん少なくなっている。このような変化があった。また、参加者の日中活動の場も自宅やデイケアから仕事や就労支援へシフトしている。

まとめとしてフットサル活動は、パーソナルリカバリーに効果的である。そしてうれしいニュースとして活動を通して、出会いがありお付き合いが始まり、結婚された方もいる。またフットサル日本代表候補に入る参加者も徳島から出てきた。参加者、医療スタッフにとってもこの場所は、家や職場、学校とも違う居心地の良いサードプレイスになっている。そして、この度、一緒に活動をさせて頂いている、むつみホスピタル様、南海病院様が徳島ヴォルティスのスポンサー様にもなってもらいました。

未来展望として、今後も参加者、私たちににとってサッカーやフットサルを通じて挨拶、仲間作り、協力する事の大切さ、ルールを守りながら積極的に社会復帰や元気に学校に行ってもらう事を目指していきたいです。勇気と自信、元気と笑顔これからも私たちが発信していけるように精進していきます。



徳島ヴォルティス

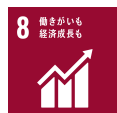
障がい者支援(精神障がい・発達支援)サッカー教室 2/2



活動場所

徳島スポーツヴィレッジ

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、行政、病院

協働者名

徳島県精神保健福祉協会、徳島県精神病院協会、
桜木病院、南海病院、いつもここから、オレンジノート、
むつみホスピタル

